

1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

(1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成

地域(5名) ※地域コーディネーターを兼ねる
地域代表者(1名) 元消防署分遣所所長
保護者代表(2名) PTA役員
保護者ボランティア
学識経験者(2名) 民生委員・保育園園長

学校(6名)

校長 教頭 教務主任 生徒指導主事
保健主事 研究主任

(2) 協議会の内容

- 第1回(5月10日)
スクールプランの説明・地域体験学習
の年間計画と内容・安全見守り
- 第2回(8月27日)
中間自己評価の説明・地域家庭の連携
- 第3回(1月10日)
年間自己評価の説明・情報交換
- 第4回(1月31日)
学校関係者評価書説明・地域学習の成
果と課題

(3) 協議会における成果と課題

- ・本年度の重点項目について、児童の様子を学校と地域で情報交換することで、指導に活かすことができた。保護者や地域の思いをきく機会となった。

2 地域と進める体験活動

(1) 活動のねらい

地区の自然や歴史、人と関わりながら、課題を見つけ解決する活動を行い、ふるさとに愛着をもち、地域へ働きかけたり、発信したりする児童を育てる。

(2) 活動の実際

①「まちを水仙でいっぱいにしよう」(3学年)

本校の校章は水仙がモチーフになっていることをきっかけに児童は、町花である水仙について地域で調べ始めた。また、社会科で水仙農家の仕事を学んだこともあり、クラスで水仙を育てることになった。そこで、社会科でお世話になった農家の方々の協力を得ながら、使われなくなった畑の球根のほり方や植え方を習い、栽培した。その後、栽培した水仙をまちの人に届けようと話し合われ、水仙クイズやメッセージを添えて、地域の色々な施設へ届けた。さらに、水仙の刈り取り方も習い、刈り取った水仙を本校の交流校に送った。



<観光案内所へ水仙をプレゼント>

(3) 地域コーディネーターの活動概要

- ・地域学習の内容について詳しく知っている方を紹介したり、体験活動の企画や当日の活動に関わったりしている。

(4) 特に工夫した事項

- ・地域学習を教科の学習と関連させながら、児童の学びがつながり、広がっていくように工夫した。また、体験するだけでなく、学んだことを地域へ働きかけたり、発信したりするところまでできるように工夫した。

(5) 成果と課題

- ・地域へ働きかけたり、発信したりすることで、地域の人からお褒めの言葉をもらったり、感謝の声をかけられたりし、児童は達成感や自己有用感をもった様子がみられた。
- ・学年ごとの活動を、内容によっては合同にしていく方向も考えたい。

(様式 3)